



アドレスV125用 オイルクーラーキット 取扱説明書

商品番号 : 07 07 0150
適応車種 : SUZUKI アドレスV125
フレーム番号: CF46A-100000 ~
: CF4EA-100000 ~

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

～特徴～

アドレスV125は、そのエンジン構造上オイルクーラーを取り付ける事が困難ですが、専用アダプターとオイルフィルターを用いる事で、オイルフィルターを無くさずにオイルクーラーの装着を可能としました。

フロア裏面のスペースにオイルクーラーを取り付けますので、必要以上に目立たないように取り付けの事が出来ます。

アンダーカバーに開ける導風穴も、ステンレス製エッチング加工のインテークプレートにより高品位に処理することが出来ます。

オイル取り出しアダプターには、別売りの弊社製M5温度センサー及びサーモユニットの取り付けが可能になっており、エンジン温度管理が出来るようになります。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

取り付け作業時に、エンジンオイルを追加する必要がありますので、作業前に同銘柄のエンジンオイルをご用意頂いた上で作業を行って下さい。

⚠ 注意

この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)

⚠ 警告

この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対しては、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

この取扱説明書は、本製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

~ 商 品 内 容 ~



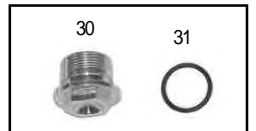
00 07 0062

00 07 0064

00 07 0048



00 07 0063



番号	部 品 名	数量	リペア品番	入数
1	オイルクーラーComp. (3-Fin / AL)	1	15000 KYJ T10	1
2	オイルフィルターアダプター (ダイカスト製)	1	00-07-0062	1
3	パーティションComp.	1	00-07-0064	1
4	ストレートユニオン M10	2	00-07-0048	1
5	オイルクーラーステー	1	15660-33G-T01	1
6	ブレンワッシャ (6.5 X 18 X 2.0)	4	00-00-0088	6
7	ソケットキャップスクリュー 6 X 16	1	00-00-0083	4
8	ソケットキャップスクリュー 6 X 20	4	00-00-0043	10
9	ソケットキャップスクリュー 6 X 25	1	00-00-0089	10
10	ソケットキャップスクリュー 6 X 30	1	00-00-0090	5
11	フランジナット 6mm	2	00-00-0091	6
12	ボタンヘッドソケットスクリュー 6 X 10	2	00-00-0092	5
13	ブレンワッシャ 6mm	2	00-00-0086	10
14	Oリング 18mm	1	00-00-0093	2
15	Oリング 40mm	1	00-00-0094	2
16	Oリング 55mm	1	00-00-0095	2

番号	部 品 名	数量	リペア品番	入数
17	オイルフィルター	1	00-02-0027	1
18	オイルフィルタースプリング	1	00-07-0065	1
19	アルミシーリングワッシャ 10mm	2	00-07-0010	10
20	ユニオン 14mm	2	15620-000-T20	1
21	ハンジョーボルト M12 X 1.0	2	00-07-0034	1
22	アルミシーリングワッシャ 14mm	4	00-07-0042	5
23	オイルホース 1000mm	1	00-07-0018	1
24	ホースバンド	4	00-00-0052	2
25	タイラップ 2.50mm	2	00-00-0096	4
26	インテークプレート	1	50611 33G T00	1
27	ボタンヘッドソケットスクリュー 4 X 8	8	00-00-0097	6
28	フランジナット M4	8	00-00-0098	10
29	Lレンチ 2.5mm	1		
30	サーモスタットホールキャップ	1	00-07-0063	1
31	Oリング 15mm	1	00-00-0186	4
32	オイルホルプラグ	1	00-02-0111	1

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

～ 取 り 付 け 要 領 ～

作業を始める前に

1. 本キット取り付けにはオイルフィルター部の分解・脱着作業が必要となりますが、作業開始前にオイルフィルター部周辺を洗浄し、砂や汚れをしっかりと落としながら分解作業を行って下さい。

△注意：オイルラインに砂や汚れが混入するとエンジントラブルの原因となります。

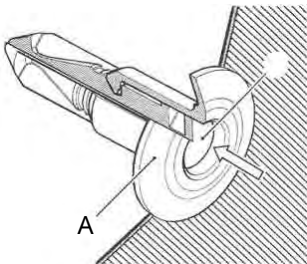
2. オイルフィルターアダプターの取り付け作業に伴い、エンジンオイルがこぼれる場合があります。オイル受けや、ウエス等を準備し、作業スペースを養生した上で作業を行って下さい。
3. 水平で安全な場所でセンタースタンドをかけ、車両を安定させます。不意に車両が前方へ動き、スタンドが外れたりしない様に、フロントブレーキレバーをタイラップやゴムバンドを用いて、しっかりと握った状態にしておく、より安全です。

部品の取り外し

- ・アドレスV125の外装に使用されているクリップの取り外し・取り付け方法

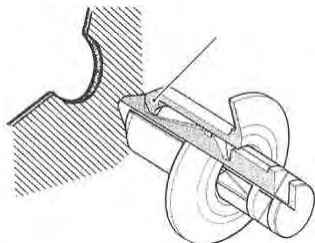
取り外し

1. クリップのセンターピースの頭部を押し下げる。
2. クリップAを引き抜く。

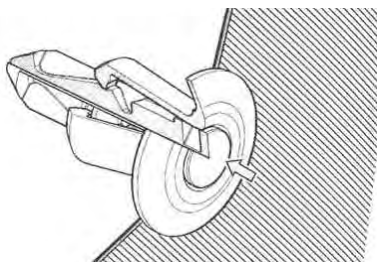


取り付け

1. センターピースの頭部を突き出させ、爪が閉じるようにする。
2. クリップを取り付け穴に挿入する。爪の損傷を防ぐ為、クリップは取り付け穴の一番奥まで挿入する。

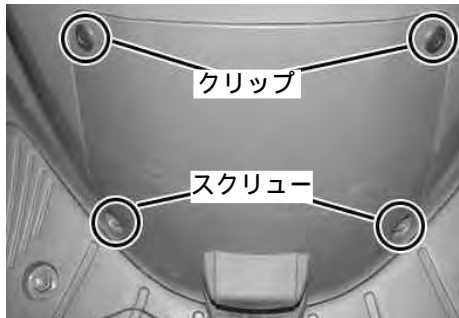


3. センターピースの頭部がクリップの外周と同じ高さになるまで押し込む。



・メンテナンスリッドNo.2 (シート前方下部) の取り外し

1. スクリューおよびクリップを外します。
2. メンテナンスリッドNo.2を外します。



・ロアレグシールドの取り外し

1. フロントレグシールド下端を固定しているクリップを左右共に外します。



2. フロントレグシールド下端を外側に広げると、ロアレグシールドを固定しているスクリーンが奥にありますので、左右共に外します。

△注意：フロントレグシールド下端を必要以上に外側に広げすぎると、カウルが破損する恐れがあります。



3. ロアレグシールド底面中央に有るクリップを外します。



4. フロア後端の左右側面にあるスクリーンを左右共に外します。

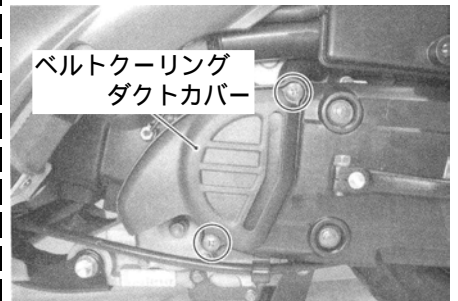


5. フック位置に注意しながら、ロアレグシールドを取り外します。



・クラッチアウトカバーの取り外し

1. タッピングビスを取り外し、ベルトクーリングダクトカバーを取り外します。

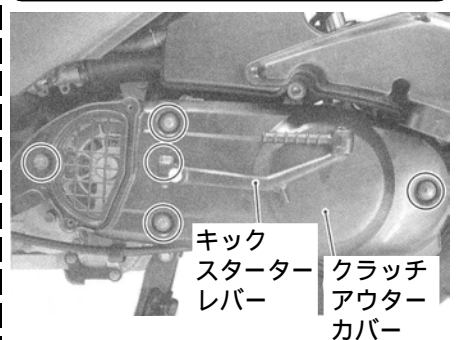


2. キックスターレバーを取り外します。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：13 N・m (1.3 kgf・m)

クラッチアウトカバーを取り外し、クラッチアウトカバーを取り外します。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：8 N・m (0.8 kgf・m)



・オイルクーラーの取り付け

1. オイルクーラーを下図のように組み替えます。

① バンジョーボルトに、② アルミシーリングワッシャ 1.4 mm ・ ユニオン 1.4 mm ・ ③ アルミシーリングワッシャ 1.4 mm の順に通してから、オイルクーラー Comp. に仮付けしておきます。



2. ボタンヘッドソケットスクリュー 6 X 1.0 に プレーンワッシャ 6 mm を通し、オイルクーラーステーに オイルクーラー Comp. を取り付け規定トルクで締め付けます。

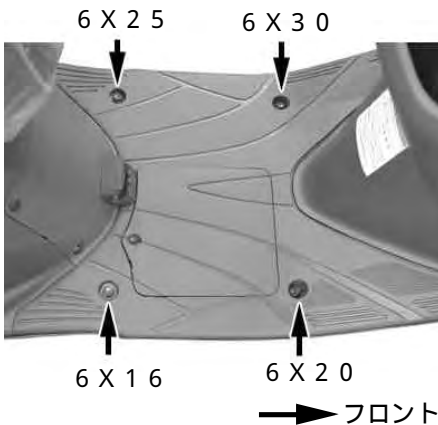
△ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：9 N・m (0.9 kgf・m)



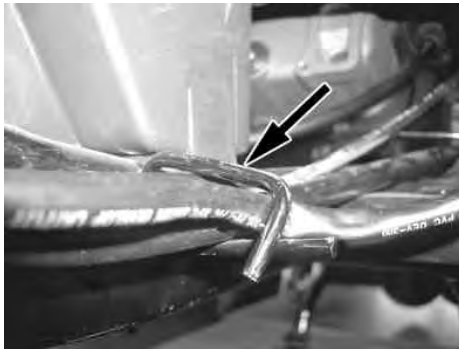
3. 純正のリアレッグシールドを固定しているスクリュー 4 本を取り外します。

4. ソケットキャップスクリュー 6 X 1.6
ソケットキャップスクリュー 6 X 2.0
ソケットキャップスクリュー 6 X 2.5
ソケットキャップスクリュー 6 X 3.0
それぞれに プレーンワッシャを通し、図を参考に長さを間違わない様に締め付けます。

△ 注意：正しい位置に正しいスクリュー長さを取り付けなければ、オイルクーラーステーが取り付け出来ません。



5. 図のようにステーをベンチ等で曲げます。(ステーが折れない様、曲げすぎには注意して下さい。)



6. 先程組み立てたオイルクーラーとステーを、車体左側裏面から取り付け、先程取り付けしたソケットキャップスクリュー 6 X 2.5、ソケットキャップスクリュー 6 X 3.0 の貫通したスクリュー先端と共締めになる様にフランジUナット 6 mm で仮止めします。



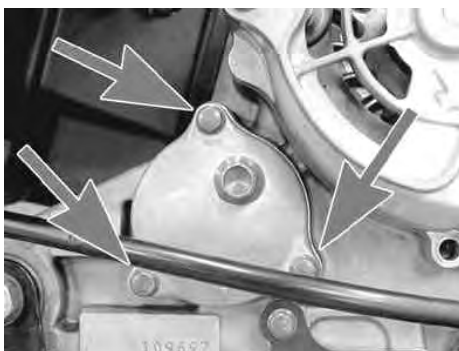
7. フレームや、サイドスタンド等(取付車の場合)と干渉の無いことを確認の上、フランジUナットを規定トルクで締め付けます。また締め付け時は、必ずレッグシールド側のソケットキャップスクリューが回らない様に工具で固定し、フランジUナットを回して締め付ける様にして下さい。

△ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)

・オイルクーラーユニットの取り付け

1. オイルフィルターアダプター側面には、別売りオプション品の M5 サーモセンサーを取り付ける為の、M5 メネジを設けてあります。M5 センサーを取り付ける場合は、オイルフィルターアダプターを車両に取り付ける前の方が作業を行いやすいので、別途お求め頂いたサーモメーターの取扱説明書をご確認の上、取り付け作業を行って下さい。

2. エンジン下にオイル受け等を準備した上で、純正オイルフィルターキャップとスプリングを取り外します。この時取り外した純正のスクリュー 3 本は再使用しますので、紛失しないように保管しておいて下さい。



3. 純正オイルフィルターと、Oリングを取り外し、オイルフィルターキャップ取り付け面を清掃します。



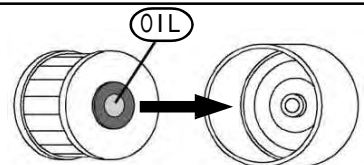
4. Oリング 18 mm にエンジンオイルを塗布し、クランクケース奥の突起部外周に取り付けます。

△ 注意：この時、純正のOリングがクランクケース奥に残っていない事を必ず確認して下さい。

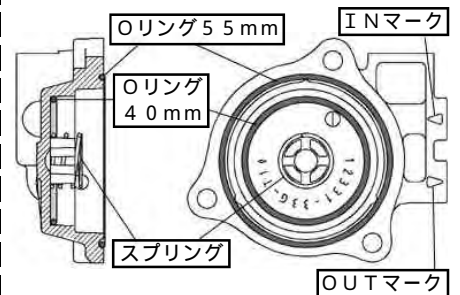


5. オイルフィルターのラバーパッキング部にエンジンオイルを塗布し、ラバーパッキング側から パーティション Comp. に差し込みます。

△ 注意：パーティション Comp. の片端は、差し込み部寸法を調整する為に外径切削加工をしていますが、パイプ寸法公差により外周が部分的に切削されていない物もあります。部分的に切削されていない物であっても不良品ではありませんので、問題なくお使い頂けます。また、外周の仕上げによる性能差も有りません。

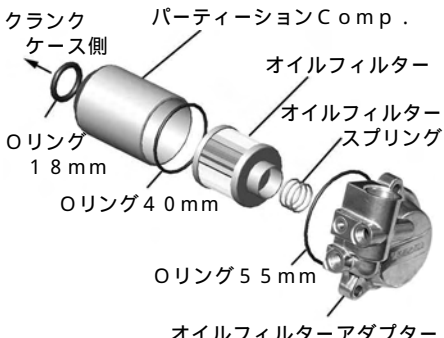


6. オイルフィルターアダプターに、キット付属の オイルフィルタースプリングを取り付け、Oリング 40 mm と、Oリング 5.5 mm に薄くグリスを塗布して取付けます。Oリング 5.5 mm は溝からはみ出しやすいので、はみ出さない様に確実に取付けて下さい。



7. 下図の位置関係を参考にし、パーティションComp.と、オイルフィルターアダプターをクランクケースに取り付け、キット付属の ソケットキャップスクリュー 6 X 20 3本で仮止めします。

この時、Oリング及びオイルフィルター Springs が脱落しないように注意し、パーティションComp. がオイルフィルターアダプターに真っ直ぐ差し込まれるようにして下さい。

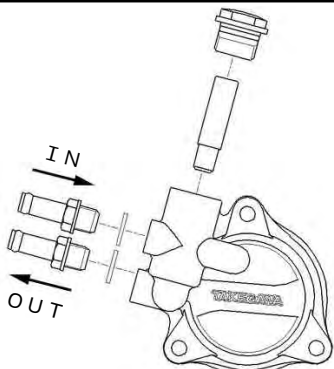


8. ソケットキャップスクリュー 6 X 20 3本を締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)

9. キット付属の アルミシーリングワッシャ 10mmに ストレートユニオンM10を通し、オイルフィルターアダプターに取付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：13 N・m (1.3 kgf・m)



10. ③サーモスタットホールキャップの溝部に ①Oリング 15mmを取り付け、Oリング部に少量のエンジンオイルを塗布します。

11. ②オイルホールプラグの段付き側を、オイルフィルターアダプターのサーモユニット取り付け部に挿入し、サーモスタットホールキャップを取り付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：15 N・m (1.5 kgf・m)

警告
オイルホールプラグを取り付ける際は、必ずオイルクーラーを接続して下さい。
オイルホールプラグを取り付け、ストレートユニオンを塞いだ状態でエンジンを始動すると、エンジンオイルが循環することが出来ない為、エンジンが破損します。

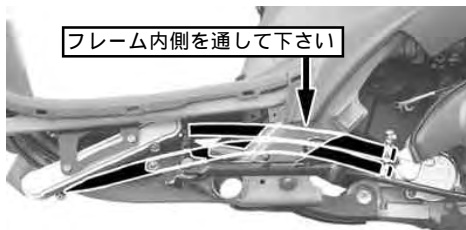
12. クランクケース外側やオイルストレーナーキャップ周辺にこぼれ出たオイルを、パーツクリーナー等を用いて完全に洗浄しておきます。

△警告：オイルが残っていると、走行時にオイルがタイヤに付着するなどして、重大な事故につながる恐れがあります。

・オイルホースの取り付け

1. 車両に合わせて23 オイルホースを切断し、両端に24 ホースバンドを通して、オイルクーラーユニットとオイルクーラーComp. を接続します。

(ホース長さをいきなり短く切断しすぎないように、現車に合わせて調整しながら切断して下さい。)



2. オイルホースの長さが決まりましたら、ホースバンドを4つ共締め付けます。

△注意：ホースバンドのクランプ部分が、車体ハーネスやオイルホース等に干渉しないように、位置を調整して下さい。

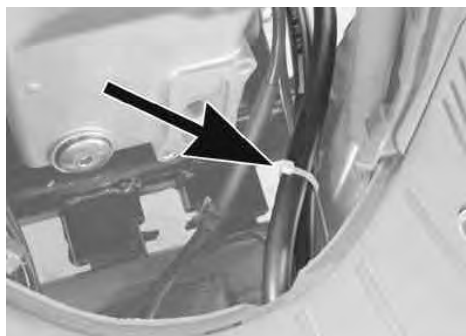
3. オイルクーラーに仮付けしていた21バンジョーボルトを、規定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：22.5 N・m (2.3 kgf・m)

△注意：締め付けは、オイルクーラーComp. のヘッダー部分(6角部分)に必ずスパナ等を掛けた状態で、バンジョーが回らない様に固定しながら締め付けて下さい。

4. ⑤タイラップで、ホース同士を束ね、車体やエンジン等に干渉する事が無い様にホースの動きを規制します。

どうしても干渉してしまう場合は、別途スパイラルチューブ等をご用意頂き、干渉する部分のオイルホースを保護して下さい。



・インテークプレートの取り付け

1. 別紙取り付けアドバイスを参照し、取り外しであるロアレグシールドの左前方下部に、導風用の穴を開けます。

△注意：加工時は、適切な保護具や手袋を着用の上、十分注意して作業を行って下さい。

2. ⑥インテークプレートをロアレグシールドに沿うように曲げ、表側から27 ボタンヘッドソケットスクリュー 4 X 8を通し、ロアレグシールド裏側から28 フランジナット M4で固定します。



・組み付け

1. 取り外した外装類を、元通り組み付けます。
2. エンジンオイルを、オイルクーラー容量分(80cc)程度追加します。

・最終確認

1. 必ず換気の良い場所で車両を水平に立て、エンジンを始動し、各部よりオイル漏れ等が無い点検を行って下さい。

△警告：密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。一酸化炭素中毒になる恐れがあります。

2. 2~3分間アイドル運転後エンジンを停止し、2~3分後にセンタースタンドを収納した状態(水平・垂直)でオイル量が適正かどうか点検し、必要に応じて、オイルを追加して下さい。
(オイル量点検時レベルゲージは、差し込みだけでねじ込みません。)

3. 試運転をしてリアサスペンションを動作させて、ホースに無理がかかった形跡や、エンジン及びフレームとの干渉が無い確認して下さい。

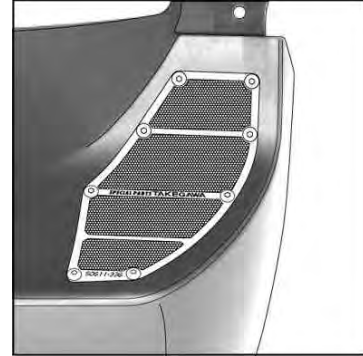
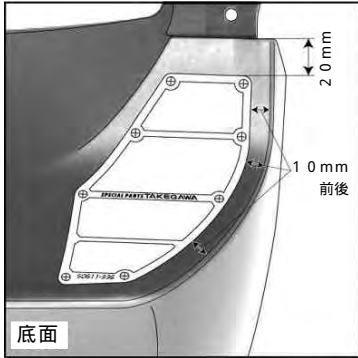
株式会社 SPECIAL PARTS 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
TEL 0721-25-1357
FAX 0721-24-5059
お問い合わせ専用ダイヤル 0721-25-8857
URL http://www.takegawa.co.jp

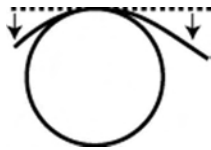
～ インテークプレートの取り付けアドバイス ～

下記方法はあくまで参考です。失敗しないよう慎重に作業を行って下さい。

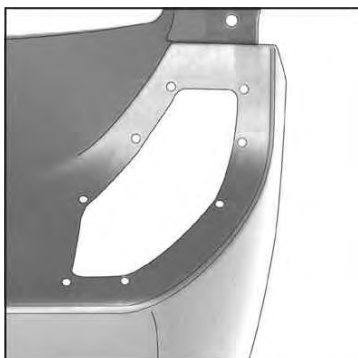
- ボタンヘッドソケットスクリュー差込み穴の中心をマーキングします。仕上がりに対して最も重要な作業です。特に慎重に行ってください。型紙又はインテークプレートを、ロアレグシールドの所定箇所にテープ等で仮止めし、スクリュー差込み穴の中心をペンや目打ちなどでマーキングします。
- ボタンヘッドソケットスクリュー 4 X 8 と 8 フランジナット M 4 で、インテークプレートを固定して完成です。フランジナット M 4 がカウル内側になります。



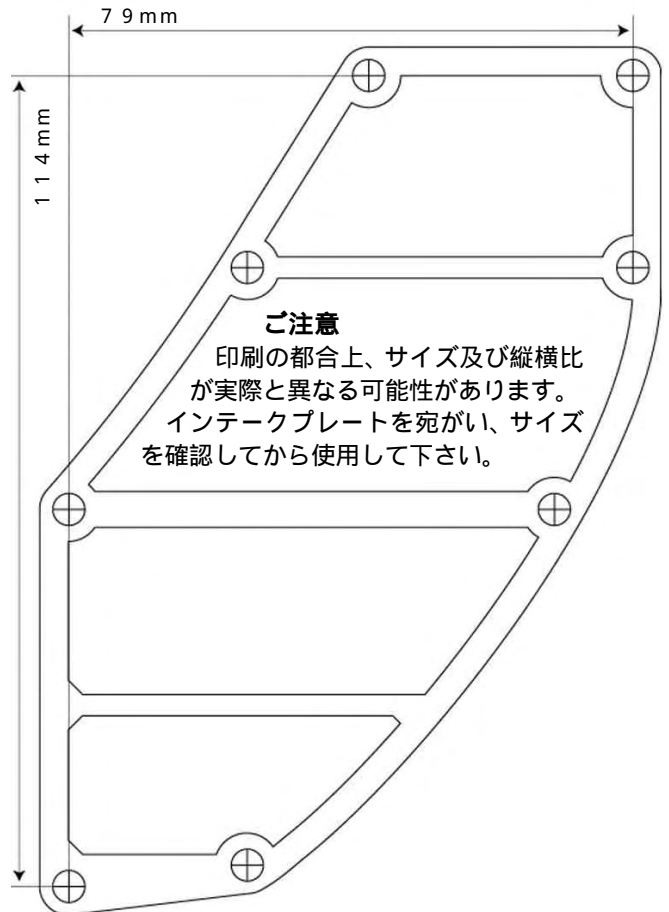
△注意：型紙を使用した場合、インテークプレートを実際に宛がい、穴の中心がずれていないかよく確認して下さい。また、インテークプレートを曲げる時は、円柱状の物（太めの空き缶など）を利用し、滑らかに湾曲させて下さい。手で無理に曲げるとカウルに沿わなくなってしまいます。



- マーキングした 8 箇所（箇所）に 4 mm の穴を開け、インテークプレート枠内に外気導入口を開けます。下図のような加工が困難な場合は、大き目の丸穴を沢山開けるなど、インテークプレート枠内に、出来るだけ導入口を設けて下さい。また、導入口はインテークプレートの影になりますので、加工が少々荒い場合でもあまり目立ちません。削り過ぎには十分注意しながら加工して下さい。



型紙



株式会社 SPECIAL PARTS 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
 TEL 0721 25 1357 FAX 0721-24-5059
 お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857
 URL <http://www.takegawa.co.jp>